

セルフドリル性能総合データ

引抜荷重

単位:N

ねじ外径	板厚(mm)	0.5	0.8	1.0	1.0	1.2	1.6		
材質	SGCC	SGCC	SGCC	ZSB400	ZSB400	ZSB400			
3.5	471	874	1,192	1,246	1,663	2,366			

注)ねじ山数は、20山

(n=5の平均値)

ねじ外径	板厚(mm)	1.0	1.0	1.2	1.6	2.3	3.2	4.5	6.0
材質	ZSB400	SGCC	ZSB400	ZSB400	SS400	SS400	SS400	SS400	
4.2	1,618	1,417	1,945	2,903	4,838	7,610			
4.8			2,032	2,964	5,100	8,484	12,244		
6.0				2,991	5,752	9,050	14,871	18,740	

注)ねじ径別ねじ山数は、それぞれ4.2(18山)、4.8(16山)、6.0(14山)

(n=5の平均値)

せん断荷重

単位:N

呼び径(mm)	4.2	4.8	6.0		
単体せん断力	5,630	7,200	14,010		

注)ねじ径別ねじ山数は、それぞれ4.2(18山)、4.8(16山)、6.0(14山)

(n=5の平均値)

引張り破断荷重

単位:N

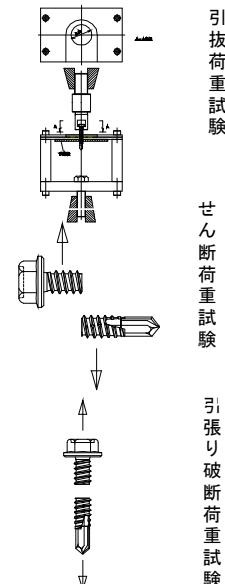
呼び径(mm)	4.2	4.8	6.0		
単体引張り破断力	8,030	10,960	19,830		

注)ねじ径別ねじ山数は、それぞれ4.2(18山)、4.8(16山)、6.0(14山)

(n=5の平均値)

ZSB400 建築構造用表面処理薄板軽量形鋼
SGCC 溶融亜鉛めつき鋼板
SS400 一般構造用圧延鋼板

日本鉄鋼連盟規定
日本工業規格 JIS G 3302
日本工業規格 JIS G 3101



引抜荷重試験方法

専用治具を用い、試験用材に試験用ねじをインパクトドライバーにて、ドリル先部を越え、完全ねじ部が試験用材にかかるまでねじ込み、試験用ねじの頭部を試験体の軸線方向にほぼ垂直に島津製万能試験機で引き上げ、試験用ねじが引き抜かれるかまたは試験用ねじが破断するまでの最大荷重を測定
尚、専用治具の支持穴径はφ 40.0mmとし、引張速度は4mm/minとした

単体せん断荷重試験方法

専用治具を用い、試験用ねじを専用治具にセットし、専用治具を試験用ねじの軸線方向とほぼ垂直に島津製万能試験機にて引張り、試験用ねじが破断するまでの最大荷重を測定

引張破断荷重測定方法

試験用ねじの頭部を試験用ねじの軸線方向にほぼ垂直に島津製万能試験機で引き上げ、試験用ねじが破断するまでの最大荷重を測定

※注意事項

このデータを実際の設計データとして引用される場合は被試験材(C型鋼等)の強度(変形)を考慮した上で行って下さい。(被試験材により大きく値が下がる場合があります。)